

## 研究活動 Research Activities

各研究者の研究活動を[展覧会の企画・構成]、[著書]、[論文]、[翻訳]、[エッセイ・作品解説など]、[口頭発表・講演など]、[その他の活動]の7項目を中心に報告する(研究者名の五十音順)。項目は各研究者によって多少の異同がある。また、これは研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり、著作目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。大項目に絞った報告もある。

大屋美那/Mina OYA

[展覧会企画・構成]

「ウインスロップ・コレクション」展、国立西洋美術館、2002年9月14日－12月8日

[著書]

『ウインスロップ・コレクション』展カタログ(共同編集)、国立西洋美術館、2002年9月

[作品解説など]

『ウインスロップ・コレクション』展カタログ、作品解説(Nos.1, 5, 6, 13, 14, 23, 24, 55)  
「フォッグ美術館とウインスロップ・コレクションについて」東京新聞、9月12日(朝刊)

[翻訳]

ジェイムズ・クノー「エドワード・W.フォーブス、ポール・J.サックスとフォッグ美術館の起源」『ウインスロップ・コレクション』展カタログ、pp.13-18  
ステファン・ウオロホジアン「美を求める眼：グレンヴィル・ウインスロップとそのヨーロッパ美術コレクション」『ウインスロップ・コレクション』展カタログ、pp.19-36  
ジェイムズ・クノー「ウインスロップのコレクションとフォッグ美術館」東京新聞、9月28日(朝刊)

[講演など]

豊島区民教室「19世紀イギリス・フランス絵画～国立西洋美術館「ウインスロップ・コレクション」展を訪れて」、豊島区千早社会教育会館、2002年11月15日、29日

[その他の活動]

スタンフォード大学付属美術館主催シンポジウム参加、「New Studies on Auguste Rodin,」October 4-5, 2002

河口公生/Kimio KAWAGUCHI

[作品管理]

タビスリー展作品展示  
タビスリー7作品撮影

[修復処置]

寄贈タビスリー作品《庭園婦女之図》修復処置  
オーギュスト・ロダン作《アダム》と《エヴァ》免震化工事

[調査]

ピストルフィ彫刻修復と調査  
タビスリー7作品の調査

[執筆]

《地獄の門》修復ならびに免震化工事報告書の準備  
武蔵野美術大学通信課程教科書「修復と保存」担当

[論文]

「保存修復部門の役割」2002年度紀要

[その他]

絵画修復報告のデータベース化

幸福 輝/Akira KOFUKU

[論文]

「消えたイタリアーブリュエゲルのイタリア体験」『国立西洋美術館研究紀要』No.7, pp.19-36

[その他の活動など]

ヤン・ブリュエゲル《アブラハムとイサクのいる森林風景》(2002年度購入作品)の調査研究  
「レンブラントとレンブラント派：聖書、神話、物語」(2003年開催予定)の準備  
同展関連シンポジウムの準備  
「クストディア財団所蔵キアロスクーロ版画展(仮)」の準備(2005年開催予定)  
ナショナル・ギャラリー(仮)管理運営委員  
ナショナル・ギャラリー(仮)名称選考委員  
美術史学会東支部常任委員  
美術史学会東支部3月例会企画運営(3月22日・国立西洋美術館)  
新潟県立近代美術館収集委員  
東京大学大学院人文社会研究科併任教授(2002年4月－9月)  
慶應大学文学部非常勤講師(2002年4月－2003年3月)  
山形大学人文学部非常勤講師(2002年8月)

佐藤直樹/Naoki SATO

[論文/著作]

Der Ort des wabi - zu einer Theorie der Haut in der japanischen Kunst, übersetzt von Alexander Hofmann, in: Gesichter der Haut, hrsg. von Ch. Geissmar-Brandi, I. Hijiya-Kirschner und Satō Naoki, Stroemfeld / Nexus, Frankfurt / Basel, 2002, S. 33-44.  
Ch. Geissmar-Brandi, I. Hijiya-Kirschner und Satō Naoki, Gesichter der Haut, Nexus 57, Stroemfeld / Nexus, Frankfurt / Basel, 2002  
「デューラーの《幻影》について―ルネサンスの夢に関する研究―」『鹿島美術研究』年報第19号別冊、財団法人鹿島美術財団、2002年、pp.205-220

[作品解説]

『ウィーン美術史美術館名品展―ルネサンスからバロックへ―』カタログ、マンテーニャ工房、デューラー、ソラーリオ、ティツィアーノ、ボルドーネ、ティントレット、パッサーノの作品を解説、東京藝術大学大学美術館、2002年

[展覧会]

ドレスデン版画素描館所蔵「ドイツ・ロマン主義の素描」展の準備(2003年度開催予定)

[学会]

版画素描学芸員国際会議参加  
International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XVIIth Convention at Rotterdam and Antwerp, June 2th - 6th, 2002

高橋明也 / Akiya TAKAHASHI

[展覧会企画・構成]

「織りだされた絵画：国立西洋美術館所蔵17-18世紀タピスリー」展、2003年3月18日－5月25日

[著書]

『織りだされた絵画：国立西洋美術館17-18世紀タピスリー』展カタログ（編集・共著）国立西洋美術館、2003年

[論文]

「再発見された旧松方コレクションのレオナルド・ピストルフィ作彫刻群について ― 第二回調査報告」『国立西洋美術館紀要』No.6, 2002年、pp.33-44

「近世のタピスリー芸術 ― 絵画と工芸のはざままで」『織りだされた絵画』展カタログ、pp.10-15

[エッセイ、作品解説など]

新収作品解説「マリー＝ガブリエル・カベ[1761-1818]《自画像》（デッサンをする画家）」『国立西洋美術館年報』No.36, pp.13-15

新収作品解説「フランク・ブラングイン[1867-1956]《しけの日》」『国立西洋美術館年報』No.36, pp.16-17

新収作品解説「寄贈作品：旧松方コレクションのタピスリー群」『国立西洋美術館年報』No.36, p.18

「国立西洋美術館の「タピスリー展」を巡る覚書」『織りだされた絵画』展カタログ、pp.6-9

[口頭発表・講演など]

「20世紀美術の中のユトリロ ― 第一次大戦前夜から1920年代のパリ」、「ユトリロ」展記念講演会、富山県立近代美術館、2002年7月20日

[その他の活動]

寄贈タピスリー作品調査

寄託作品受け入れ準備・調査：ポール・ランソン作《ジギタリス》

国立西洋美術館構内整備委員会委員長

青山学院女子短期大学非常勤講師（2002年4月－2003年3月）

沖縄県立芸術大学非常勤講師（2003年2月）

いわさきちひろ美術館運営委員

高梨光正 / Mitsumasa TAKANASHI

[論文]

「METAMORPHOSEON」『国立西洋美術館研究紀要』No.6、2002年3月、pp.7-18

[翻訳]

アン・マクタッガート、ピーター・マクタッガート「テンペラ技法と鍵盤楽器装飾」『国立西洋美術館研究紀要』No.7、2003年3月

[作品解説]

「グイド・レーニ《ルクレティア》」『国立西洋美術館年報』No.36、2003年1月、pp.8-12

『織り出された絵画：国立西洋美術館 17-18世紀タピスリー』展カタログ、2003年、p.32、no.1

[その他の活動]

「ヴァチカン美術館所蔵古代彫刻展」（仮称）の調査企画（2004年春開催予定）

日本興業銀行および社団法人糖業協会寄贈、旧松方コレクションタピスリーの調査・研究

国立西洋美術館所蔵作品のネガフィルムのデータベース拡充、および作品データベース拡充、作品貸出業務関連データベース拡充

『国立西洋美術館年報』No.36の編集

『国立西洋美術館絵画・彫刻・工芸作品カタログ』の編集

明治学院大学非常勤講師（2002年4月－2003年3月）

田中正之 / Masayuki TANAKA

[著書]

『世界美術館の旅』（共著）小学館、2002年

[その他]

国立西洋美術館在外研究員（2002年6月より）

『マティス展』（仮称）のための調査（2004年開催予定）

田邊幹之助 / Mikinosuke TANABE

[作品解説]

『ウィーン美術史美術館名品展』カタログ、東京藝術大学大学美術館、2002年、pp.46, 47, 106-113, 124

『織りだされた絵画：国立西洋美術館所蔵 17-18世紀タピスリー』展カタログ、2003年3月

[翻訳]

カール・シュツ「美術史美術館絵画ギャラリーの歴史」『ウィーン美術史美術館名品展』カタログ、東京藝術大学大学美術館、2002年、pp.11-15

[展覧会報告]

「プラド美術館展 スペイン王室コレクションの美と栄光」『国立西洋美術館年報』No.36、2003年、pp.19, 20

[口頭発表]

「近世初期、中部ヨーロッパの都市と宮廷の美術をめぐる諸問題」、スペイン・ラテンアメリカ美術学会、2002年4月

[展覧会企画]

「受難伝 ― 国立西洋美術館のドイツ・ルネサンス版画による ―」、国立西洋美術館、2003年3月4日－5月18日

[その他]

東京藝術大学非常勤講師、2002年4月－7月

「中世の金工展」（仮称、2004年度自主展予定）のための準備

塚田全彦 / Masahiko TSUKADA

[保存修復事業]

貸出作品保存処置（温湿度データロガーの設置）

寄贈タピスリー作品《庭園婦女之図》修復処置に伴う調査分析

絵画作品修復処置に伴う透過X線写真撮影

[論文]

「ピラネージ作版画の修復処置と接着剤の分析」『国立西洋美術館研究紀要』No.7、2003年3月、pp.49-66（共著：坂本雅美 / 真貝哲夫 / 塚田全彦 / 河口公生）

[発表]

「輸送中の美術品が受ける衝撃」全国美術館会議保存ワーキンググループ第22回会合、石橋財団、2002年10月5日（共同発表：石井亨 / 塚田全彦）

[研究]

平成14年度科学研究費（若手研究(B)）「油絵具の乾燥における脂肪酸組成の変化に対する顔料の影響」

[調査・その他]

新館展示室の風除扉設置に伴う空気汚染調査

展示室清掃用ワックスによる空気汚染に関する調査

作品輸送時における振動調査（共同研究：石井亨 / 塚田全彦）

文化財保存修復学会誌編集委員  
東京農工大学非常勤講師(2002年8月-2003年3月)  
東北芸術工科大学特別講師(2002年7月)

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

「Fun with Collection '02 手と心 ― モネ、ドニ、ロダン」企画・構成・実施、2002年6月18日-9月1日  
「大英博物館所蔵 フランス素描展」「ウインスロップ・コレクション」展  
ジュニア・パスポート(共同編集)  
'02年度インターン指導

[口頭発表]

「国立西洋美術館における教育普及インターン」東京大学文化資源学研究会第1回研究会、2002年7月20日

[その他の活動]

2003年Fun with Collectionの準備・調査  
全国美術館会議教育普及ワーキング・グループ第25回会合開催、  
芦屋市立美術館博物館、2002年12月3日、4日  
全国美術館会議教育普及ワーキング・グループ第26回会合開催、  
国立西洋美術館、2003年3月19日、20日  
「博物館の機能及びその効果的な運営の在り方に関する実証的研究」、文部科学省科学研究費(特別研究促進費)の研究分担者(平成14年度)として、アメリカ合衆国ワシントンDCにおける「インターンシップ・プログラムの調査」(2002年12月6日-14日)を実施  
一橋大学大学院言語社会研究科非常勤講師(2002年10月-2003年3月)  
東京大学人文社会系研究科併任助教授(2002年4月-9月)

波多野宏之/Hiroyuki HATANNO

[情報資料活動]

研究資料センターの公開運用

[著書]

『デジタル技術とミュージアム』(編著)、勉誠出版、2002年5月、152p.  
『図書館情報学用語辞典 第2版』、丸善、2002年8月、273p.(項目執筆)

[論文]

「ICONCLASSとULAN ― 画像分類とアーティスト名コントロール・システムの応用 ―」『西洋美術研究支援画像データベースと画像処理 ― 欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究 ―』、国立西洋美術館、[2003年2月]、pp.53-63(平成6年度-平成9年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書)  
“The image processing and database system in the National Museum of Western Art, Tokyo: an integrated system for art research.” 同上、pp.85-89(*Art libraries journal*, Vol.21, No.1, p.18-22の再録)  
「国立西洋美術館における西洋美術研究支援アプリケーションツールの評価 ― 画像分類、作家名ユニオンリストを応用した科研システムを中心に ―」同上、pp.91-96(情報処理学会研究報告 Vol.97, No.48 人文科学とコンピュータ 34-1, pp.31-36の再録)  
『『バリのアート・ライブラリー』の試み』(テキストおよびCD-ROMファイル)『国立民族学博物館調査報告』35、2003年2月、pp.57-63、付:CD-ROM1枚

[口頭発表・講演など]

「座談会 市民社会とアート・ドキュメンテーション活動」、第13回(2002年度)アート・ドキュメンテーション研究会年次大会、2002年6月8日  
「デジタル技術とミュージアム」、中央区教育会図画工作部研究授業「目で・あ!・アート ― デジタル機器を使い、造形表現を楽しむ ―」講演、2002年10月17日  
「アート・ドキュメンテーション ― 図書館と美術館を結ぶ ―」、千葉大

学文学部特別講義 人文科学の現在:図書館サービスのフロンティア、2003年2月6日

[その他の活動]

資料コーナーの公開運用

デジタルギャラリー:超高精細画像検索表示システムの公開運用

国立西洋美術館情報資料懇談会の継続開催

駿河台大学大学院文化情報学研究科非常勤講師(2002年4月-7月=集中講義)

慶応義塾大学文学部非常勤講師(2002年9月-2003年3月)

国立民族学博物館情報システム運営委員会委員

[受賞]

第5回図書館サポートフォーラム賞(アート・ドキュメンテーション、国際交流)、2003年3月

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[展覧会の企画・構成]

小企画展「版画作品展 クリシェ=ヴェール(ガラス版画) ― コローとバルビゾン派の版画 ―」、国立西洋美術館、2002年9月14日-12月8日

[著書]

『西洋版画の見かた』、国立西洋美術館、2003年

[エッセイ・作品解説など]

「ベラスケス作 フェリペ4世」『読売新聞(東京版・朝刊)』、2002年5月28日

「ティントレット作 胸をはだける婦人」『読売新聞(東京版・朝刊)』、2002年5月29日

「ルーベンス作 エウロペの略奪」『読売新聞(東京版・朝刊)』、2002年5月30日

「エル・グレコ作 洗礼者ヨハネと福音書記者ヨハネ」『読売新聞(東京版・朝刊)』、2002年5月31日

「ゴヤ作 日傘」『読売新聞(東京版・朝刊)』、2002年6月1日

「木版画とトランプ」『ゼフュロス』No.12、2002年8月

[講演]

先生のための鑑賞プログラム「ブラド美術館展」概要説明、2002年4月13日

スライドトーク「ブラド美術館展」、2002年5月10日

[その他の活動]

「クストディア財団所蔵キアロ・スクーロ版画展(仮)」の準備(2005年開催予定)

構内整備検討委員会委員

『国立西洋美術館研究紀要』の編集

東京文化財研究所・保存担当学芸員研修(2002年7月9日-7月19日)に参加